

つるのおんがえし



「ご縁」をいただいたあなたへお届けする、「大きな想い」の「小さなお手紙」



意気も大人たちに
つられて水遊び!

水が澄んでる
道志川
魚と一緒に、
泳ぎまくり~



いよいよやってきました
暑い夏が大好きです

そろそろ梅雨明け? オン
ラインづくしで磨き上げる
時期から、いよいよ人と会っ
て実践するために、外へ外へ
と出始めました。目をつぶっ
てまちの香りを鼻から吸い
込んでニヤニヤしています。
感動・創庫の芦川永光です。
この時は、エアコンの設
定温度で妻とよく張り合
います。妻は下げたい、僕は上
げたい。妻が半袖短パン、で
僕は長ズボンって感じですが。
以前は夏が嫌いでした。暑い、
汗、匂い、湿気などなど、ま
わりつく感じとかが綺麗じ
やない季節だなあという印
象があったんですね。
それが今では真逆です。振
り切った後の汗はカッコい
い! 一日に3枚くらいTシ
ヤツを変えるのは気分が変
わって楽しい。何より軽装で

身軽になれるし、活発に身体
を動かしたくなるのが夏。他
人の目が気にならなくなっ
たら、一番楽しい季節は夏だ
など気づきました。

根っからの雨男でした

以前はデイズニードランド
に行くたび雨の僕でした。
8回行って8回雨とかね。友
達んちに行こう!と玄関を
開けて2秒でスコールが来
たこともありました。原チャ
リに乗っていて後ろから轟
音がしたので振り返ったら
分厚い雨のカーテンが追っ
かけてきました。なんなんだ
よ雨!という経験が多かつ
たんです。それが今では、雨
予報の日にキャンプをして
も、その日だけ晴れちゃうほ
どのスッキリ晴れ男。いった
い何があったのか。よく考
えて分析してみました。
大正生まれのおばあちゃ
んが「良いことも悪いことも
必ず返ってくるんだよ」とよ
く言っていました。日頃の行
いは良くも悪くも、自分以外
誰も見ていないところやっ
たとしても、それは必ず自分
に跳ね返ってくるという世

にも恐ろしい教えです。この
話って、大正生まれ以前の
方々は大体されるそうです
ね。今僕は現実がどのよう
に作られるのか理解すれば
するほど、おばあちゃんの教
えが、本当のマジだって実感
しているんです。

気持ちだけで変わる現実

僕が受け取った、雨が邪魔
という現実が結局、すべての
お天気に対して不満ばかり
の態度にあったのです。太陽
が暑い!雨が降ったら俺は
ツイテいない!曇っていれ
ば気持ちが悪くなる。そんな
ワガママっぷりでした。変わ
ったのは結局、お天気に対す
る態度。表情や言葉も変わっ
たかな。夏が好きだ!と受け
入れたことで、太陽ともすっ
かり仲直りが出来たんです。
おばあちゃんの言うとお
り、僕たちの現実には自分が
たことが返ってきています。
ということは、世界は自分が
何を与えるかによって変え
られるということです。僕は
今、世界がだいぶ僕の思い通
りになってきたことを絶賛
体感中です。

感動・創庫
料金後納
郵便

ゆうメール

株式会社 感動・創庫
kando-soko

〒259-1145
神奈川県伊勢原市板戸208-103
☎0463-79-9777 FAX0463-79-9778



オンライン
イベントの
お知らせです。

鬼滅の刃ジェム



7月17日
金曜日
19時～21時

僕が「鬼滅の刃」にすっかりハマってしまったのは、コロナ騒動が本格化する少し前、4月初旬くらいでした。よく行く書店で、平積みになっているのを見つけたのです。今思うと、ホント凄いなあと思うのですが、全巻、あったんですよ。

僕はその頃、全く知りませんでした。鬼滅の刃という漫画が、どれだけの人に読まれていて、そこにほぼ全巻あったことがどれほど貴重だったのか。「買っておいの方が良さそうだな、なんとなく」とお試して1～5巻を買った、これが鬼滅の刃との出会いでした。

この漫画はおそらく、深いところまで理解したいと思ったら、誰かと語るのが一番だと思うんです。僕なんかは歴史に疎いので、その視点からは見れないんですが、そこから見た発見なんかもあったら、本当はとことん知りたい！あ、あと僕は、アニメを見ていないのですが、無茶苦茶すげーって話は聞いています。

2時間で語るには、もしかしたら時間が足りないかもしれない、鬼滅の刃ジェム。その面白さや、面白いだけじゃない、自分なりの解釈など、共有できたら楽しい時間になると思います。

I LOVE HONDA ジェム



7月29日
水曜日
19時～21時

世界の車・バイクメーカー、HONDAについて熱く語る2時間です。僕がHONDAを好きになったのは、ホンダのバイクに乗ったことはありますが、それがきっかけではありません。学生時代に本田宗一郎さんの本を読んだからです。

彼は、車の下に潜って、油まみれになりながら、夢を語り続けた人です。ソニーの盛田昭夫さん、松下電器の松下幸之助さんといった、戦後を走ってきた経営者さんの中でも、ものづくりの現場から会社を興していった本田宗一郎さんの姿に、僕は憧れました。

大学を卒業して、最初に入った会社はものづくりの会社。ホンダ系の会社だったんです。高度経済成長を支えた、日本の脚「スーパーカブ」の部品を作っていた会社だったので、そこには確かにホンダイズムが存在しておりました。

ということで僕、アシカワはそんな、プチHONDAマニアです。うちの車はもちろんホンダ。車種は、This is 最高にちょうどいいHONDA「フリード」。学生時代、本田宗一郎さんの経営についての論文を書いたほど、HONDAという会社の経営理念も好きです。

ウチの車は常に世界トップのT社だよ、N社は横浜市お膝元だからねという「HONDAなんて眼中にないわい！」という方とも全く遠慮なく一緒に、HONDAについて語れたらと思っています。

当日この時間に

QRコードをスマホで読み取れば、「ジェム向場」に参加できますよ～



川には脚を付けるのが精一杯だったのが、ズッコケて頭からドボンまでも平気だったり、しまいには川の水を手ですくって飲んじゃったりして。
お子さんがいらっしやるお父さんお母さん、ぜひ一緒にしましょうよ！虫も触れない僕が言うのもなんですが、子供の無限の可能性を引き出すのはキャンプ！これ、間違いないっす！

千弘は、何でも口に入れる頃なので、その辺に座らせると石や砂を口に入れてました。このまま食事を与えたらどうなるんだろうと試してみたら、砂をペッペッと出しながら、食べ物飲み込みました。1歳前でコレはすごいですよね(笑)

もう頭ん中ね、ずーっとコレばかりです。やっぱりキャンプが好きやねん！って感じです。約10年のブランクは子供たちのアップデートっぷりを見ていたら、コレで良かったんだなと納得しちゃっています。子供たちの成長が止まらないんです。竜弥は大人が焚き火をしているのを見て、木に火がつくことを理解しました。一切教えていないのに、火が消えたばかりの焚き火に薪をくべて、トングでいじくりまわして火を起こしました。

子供の先生は大自然

編集後記

